

2019 夏休みおすすめ本 中学生



『ぼくたちの^{パラダイス}P』 913ニ

にしがき ようこ/作 小学館

中学二年生の雄太は、夏休みにおじさんの別荘へ行くことになりました。しかし、さわやかな高原でのんびりゲームをしようという雄太の期待は見事に裏切られました。5時間もきつい山登りの末にたどりついたのは、電気も水道も通っていない山小屋だったのです。初めは不満気だった雄太も、山の上で過ごすうちにだんだんと変わっていき……。

『ウンダーカンマー ここは魅惑の博物館』 Y913カ

かしざき 榎崎 茜/著 上路 ナオ子/画 理論社

「県立自然史博物館」に職業体験にきた5人の中学生。くじ引きでそれぞれ魚類、古脊椎、鳥類、哺乳類、無生物の担当に決まり、いざ仕事場へ！

でも、博物館って何するんだろ？古脊椎ってなに？と、不安と疑問がいっぱい。5人それぞれの刺激に満ちた職業体験がはじまります。

『八月の光』 913ク

くつき 朽木 祥/作 小学館

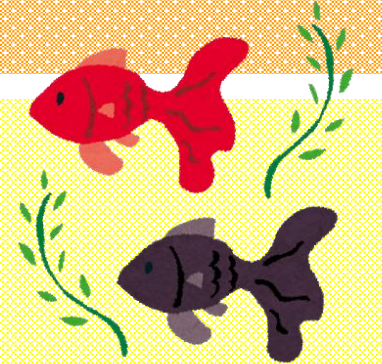
7万人もの命を一瞬にして奪った「光」。ヒロシマ原爆投下後の生き残った人々の物語。光子は母子の二人暮らし。父はとうにこの世の人ではなくなった。兵隊に召集され戦死したのだ。日ごとに激しくなる空襲に、母テルノと光子は疎開することに。疎開する前日、ヒロシマにすさまじい光が閃いたのだった。

著者が『失われた声』を拾い上げ祈りを込めた短編連作。

『13歳のシーズン』 YF アサ

あさの あつこ/作 光文社

藤平菜里、綾部深雪、荻野真吾、駒木千博。中学に入学した四人は同じクラスになる。それぞれ家庭環境も違えば、性格も違う四人だったが、夏休みの宿題で発表する年表作りを一緒にすることになってから、次第にお互いの存在を確かめ合うようになる。ところが年表にトラブルが発生してしまう。



『西の魔女が死んだ』 913ナ

梨木 香歩/作 小学館

中学校に入ったばかりのまいは、学校へ行けなくなった。

そして田舎のおばあちゃんのところへ行くことになった。畑や林、川や緑の山に囲まれて過ごす日々、何よりもおばあちゃんとの生活が楽しいまいであったが、「西の魔女」とはだれだろうか？

『ナーダという名の少女』 YF カド

角野 栄子/著 KADOKAWA

ブラジルのリオデジャネイロで日本人の父とポルトガル人の母との間に生まれたアリコは15歳。ある日一人で映画を見にきたアリコは、右目は翡翠色、左目は水色の少女ナーダと出会った。そして、ジットという青年と会っていくうちに、ナーダの秘密を知り……。

『夜間中学へようこそ』 Y913ヤ

山本 悦子/作 岩崎書店

76歳のおばあちゃんが言いました。「わたしも四月から学校だから」「中学校に通うんだよ」おばあちゃんも私と同じ中学一年生！、孫の優菜は驚きです。おばあちゃんは、夜間中学に通い始めました。ところが、下校途中におばあちゃんがケガをしてしまいます。そこで、優菜が送り迎えを買ってでます。おばあちゃんの同級生たちとのかけがえない日々が始まります。